

新年を迎え、会員の皆さんへ

一般社団法人 日本栄養学教育学会の会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

幾多の難題を抱え、時には設立反対の意見にも出会い、難産ではありましたが、本学会は、会員の皆さんのご理解とご支援のお蔭をもちまして、平成 24 年（2012 年）8 月に正式に発足することができました。衷心より御礼申し上げます。発会式、第 1 回学術総会につきましては、第 59 回日本栄養改善学会学術総会の徳留裕子会長、鈴木公先生のご尽力により、開催にたどりつくことができました。同学術総会の関係の諸先生方に感謝の意を表する次第です。今後も、日本栄養改善学会が本学会をサポートしていただきますことをお願い申し上げます。

本学会の趣旨につきましては、ホームページの設立趣意書、第 1 回学術総会の講演要旨集（特に中村丁次、鈴木道子両先生の総論）をご覧ください。会員の皆さんから、学術雑誌刊行、ニューズレター発刊、栄養学専門科目ごとの分科会設置の要望も寄せられています。高額の会費を納入していただいておりますので、可及、ご期待に沿いたいと考えておりますが、事務局は無料委託、非常勤事務職員雇用の予算も立てられない現状です。もう少しの間、ご辛抱ください。会員のみなさん、会員増にご協力をお願いいたします。

本年度は、4 月に代議員（法人の社員。他学会の評議員に相当）と理事の選挙を予定しております。定款、細則に詳細が示されていますので、ご参照ください。

第 2 回学術総会は、平成 25 年 9 月 1 日（日）、東京家政学院大学で、田島眞会長のもとに開催します。なお、会場は田中弘之先生のお世話によるものです。間もなくプログラムを発表させていただきます。現時点では、特別講演、シンポジウム（あるいはパネルディスカッション）に加えて、会員の皆さんからの一般講演、特に、ご自慢のカリキュラム、講義、実験・実習・演習、その他を紹介していただきたいと考えています。

管理栄養士の養成のあり方に加えて、私ども教員の質的向上も考えていきたい、否、しなければなりません。管理栄養士養成課程以外の某教授から次のようなことを言われ、ショックを受けました。「管理栄養士養成課程の教授で、英文原著論文 100 編以上の人は、何人おられるんですか?」「**first author** の論文は・・・」。論文の数のみならず質的向上を目指さなければなりません。栄養学の教育のみならず栄養学の研究のあり方にも情報交換をしていきたいものです。

会員の皆さんの益々のご精進とご発展を祈念しつつ・・・。

平成 25 年元旦

一般社団法人 日本栄養学教育学会  
代表理事（理事長）

田中 平三